

国語 第1学年 すきな こと、なかに 授業の設計図

元にした物：小学校学習指導要領（平成29年告示）の原文と、国立教育政策研究所の学習評価の参考資料。教科書の本文・問題・挿絵は入れていません（先生が入れる欄）。光村図書の令和6年度版年間指導計画に基づく1学期の授業案。教材本文・台詞・挿絵・問題文は転載していない。

この単元で子どもが最後にできるようになること

好きなことを話題に選び、聞いてもらった反応を使って紹介文を書く。学習の記録は、好きなことの紹介メモと紹介文である。

学習指導要領のどこに書いてあるか（原文）

学習指導要領の項目	原文
〔第1学年及び第2学年〕 A 話すこと・聞くこと(1)ア	ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。
〔第1学年及び第2学年〕 B 書くこと(1)ウ	ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕 (1)キ	キ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。
〔第1学年及び第2学年〕 A 話すこと・聞くこと(1)イ	イ 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕 (1)ア	ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。

単元の目標

丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。〔〔知識及び技能〕 (1)キ〕

語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。〔B(1)ウ〕

身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。〔A(1)ア〕

好きなことを話題に選び、聞いてもらった反応を使って紹介文を書く学習の中で、言葉への関心を持ち、自分の取り組みを見直そうとする。

評価規準（3観点）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。（〔知識及び技能〕(1)キ）	①「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ②「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア）	①好きなことを話題に選び、聞いてもらった反応を使って紹介文を書く学習に進んで取り組み、友達の反応や自分の記録を確かめながら、言葉の使い方や捉え方を見直そうとしている。

単元の流れ

光村図書の年間指導計画による全7時間（話・聞3、書4）。総時数は公式資料に従う。各時の配分と本時の選定は、本案による授業配当の提案である。

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1	○好きなことを話す目的を確かめ、身近な経験から話題を選ぶ。	学習状況を見て支援する。
第2次	2～3	○選んだ話題で紹介し合い、質問への返答から伝える材料を選び直す。	思②（話題の選択・紹介メモ・返答）
第3次	4～6 （本時）	○好きな活動とその時の様子を口頭で紹介し、聞き手の質問を受ける。返答から書く内容を選び、語や文がつながる紹介文にする。読み手が受け取った内容を確認、文を直す。	思①（発言・活動中の記録・作成物）
第4次	7	○紹介文を読み合い、伝わった内容と文のよいところを確認。	態①（学習前後の記録と見直しの理由）

本時の案

本時の目標：語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（B(1)ウ）

段階	学習活動（○主な発問） ・予想される児童の反応	指導上の留意点（◎評価）
導入 （ 分）	誰に何を伝えるかを確かめ、書く材料や最初の文を出す。 ○「相手が知りたいのは、好きなことのどんな様子ですか」 【めあて】好きなことを話題に選び、聞いてもらった反応を使って紹介文を書く。 〈予想される児童の反応〉 ・名前だけでは何をしているか伝わらなかった。	最初の言い方や記録を残し、授業後の考えと比べられるようにする。正答を先に示さず、扱う言葉と課題を確認する。
展開 （ 分）	○「相手が知りたいのは、好きなことのどんな様子ですか」 好きな活動とその時の様子を口頭で紹介し、聞き手の質問を受ける。返答から書く内容を選び、語や文がつながる紹介文にする。読み手が受け取った内容を確認め、文を直す。 読み手が受け取った意味を確認め、自分の意図と違った箇所を選んで直す。残した表現にも理由をもつ。 〈予想される児童の反応〉 ・名前だけでは何をしているか伝わらなかった。 ・質問されたところを文に加えたい。	教師は本人が話せる学校生活の話題も用意する。口述を先に記録し、主語と述語の組合せを声に出して確かめる。 想定する難しさ：好きな物の名前を並べるだけで、したことが分からない。 評価では、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫しているかを、好きなことの紹介メモと紹介文と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。 ◎思① 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（発言・活動中の記録・作成物）
まとめ （ 分）	【まとめ】問いへの答えを、今日確かめた言葉や表現を含めて話す。 好きなことの紹介メモと紹介文を見返し、初めと変わった点や、そのまま残した理由を確認める。 〈予想される児童の反応〉 ・質問されたところを文に加えたい。	教師のまとめを写すだけにせず、本人が選んだ言葉と理由を確認める。態度は本時だけで決めず、単元を通した取り組みと調整の記録を合わせて判断する。 ◎態①（最初と最後の記録、見直しの理由）

板書の構造（縦書き・右から左へ）

縦書きで、右から左へ学習の流れを配置する。右端に題名とめあて、その左に問い「相手が知りたいのは、好きなことのどんな様子ですか」。中央は、好きなことの紹介メモと紹介文に必要な言葉・材料と、考えた理由を対応させる。本文を扱う場合は先生が手元の教科書から必要な範囲を示す。左側に比べて気付いた点と見直した箇所、左端に本時で確かめたことを置く。

つまずきやすい所と手当て

好きな物の名前を並べるだけで、したことが分からない。この難しさには、教師は本人が話せる学校生活の話題も用意する。口述を先に記録し、主語と述語の組合せを声に出して確かめる。評価では、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫しているかを、好きなことの紹介メモと紹介文と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

プリントの案

本時の記録 好きなことの紹介メモと紹介文を残す欄を用意する。教材本文や図を複製せず、自分の言葉や印で記録する。
比べて確かめたこと 最初の考えや表現、友達からの反応、確かめた言葉、最後に選んだ考えや表現を対応させる。書く負担が大きい場合は口述や指差しも教師が記録する。

出典：光村図書 令和6年度版 年間指導計画。教材名・時期・総時数・目標の出典。年間指導計画例 Excel（1年）「1 年上巻」90行目（https://www.mitsumura-tosho.co.jp/download_file/view/088f2846-983b-455d-b185-6c3a18a27671/368）／文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）。保存した公式原文と学年段階・項目を照合。
（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm）／国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語。評価の観点と記録の考え方。
（https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf）
AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)

https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

